

都市部における ”環境保全活動”の意味と これからを考える座談会

森林再生、里山保全、都市公園管理、ゴミ拾いなど、環境保全を担う主体の活動は形も規模も様々です。しかし、その根底にある「人々と地域・自然をどうつなぐか」という問いは共通しています。

本座談会では、都市部近郊での環境保全活動をけん引してきたゲストと共に、多様な現場の知見と課題を共有し合い、互いの実践に学びながら、都市部における環境保全の未来を描きます。仲間と共に、環境保全活動のあり方を見つめ直してみませんか？

こんな方にオススメ

〇トークテーマ

- ・活動にかかわる都市部の人々の現状は？
- ・都市部近郊の環境に関する活動の課題とこれから

- ・都市部近郊の様々なフィールドで、環境保全活動や地域課題にかかわっている方
- ・環境保全活動のリアルな課題感や今後の展望について語り合いたい方
- ・「都市部の人々と地域・自然をつなぐ」ために何ができるか、ともに考えたい方

ゲストスピーカー

NPO法人よこはま里山研究所(NORA) 松村正治さん



NPO法人よこはま里山研究所事務局長、NPO法人Life Lab Tama事務局長。多摩丘陵を舞台に、まちの近くで里山とかわる暮らし、里山をいかす仕事づくり、市民協働による持続可能な地域づくりをすすめている。学術的な専門は、環境社会学、公共社会学。都市近郊の里山や日本の離島などで、社会学的な調査研究をおこなってきた。一橋大学大学院、立教大学大学院、法政大学、恵泉女学園大学兼任講師。

樹木・環境ネットワーク協会 後藤洋一さん



1981年生まれ。創価大学卒業後、企業に就職するも、環境教育活動に興味を持ち、インタープリターとして活動を開始。2010年にNPOへ転職し、現在は森林保全ボランティアの統括や自然体験を通じた環境教育の企画・運営に携わっている。所属しているNPOには、樹木・環境ネットワーク協会とNPOフュージョン長池があり、樹木・環境ネットワーク協会では、「海の森公園プロジェクト」や「まちだみどり活用ネットワーク」などのプロジェクトを推進しており、フュージョン長池では生きものの展示室の運営を担当する。

NPO法人フュージョン長池 小林健人さん



八王子市長池公園園長、NHK文化センター町田教室講師 ほか
八王子市内にある都市公園(市内81ヶ所)の管理者として里山の手入れや街づくりに携わる傍ら、首都圏各地で動植物の調査、ガイド、環境教育、保全活動の指導などを行う。主な著書に「由木の植物目録2022 (自費出版)」、および分担執筆として「自然観光の科学(朝倉書店)」、「東京都レッドデータブック2023(東京都環境局)」、「新八王子市史 自然編(八王子市)」などがある。

NPO法人森のライフスタイル研究所 竹垣英信さん



大学卒業後、服飾系メーカー営業マンや工事現場監督を経て、これまでの分野とはまったく関連のない環境活動にどっぷりハマり、2003年に森のライフスタイル研究所を設立、代表となる。2009年まではバイオマスエネルギーの啓発、2014年からは企業CSR活動分野との協業をスタートさせ、現在は年間100本を超える企業プログラムを行っている。

2025
10/20
(月)

日時：10:00～12:00

会場：地球環境パートナーシッププラザ

(GEOC) (東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F)

参加費：無料 定員：25名程度

申込みはこちら



<https://forms.office.com/r/hyht0ifrcq?origin=lprLink>

主催：関東地方環境パートナーシップオフィス(EPO)
独立行政法人環境再生保全機構

お問い合わせ先：関東EPO 山本・高橋
TEL：03-3406-5180 Mail：kanto-epo@geoc.jp